

(様式3)

令和6年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市生涯学習センター	所在地	伊勢市黒瀬町562-12
指定管理者名	特定非営利活動法人 まなびの広場	指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
設置目的	市民の生涯にわたり学習を促進し、市民文化の文化充実に資するため		
業務内容	・各施設の貸し出し業務 ・センター講座の開講 ・各種イベント実施(公開講座・子ども向けイベント・生涯学習フェスティバル等)		
施設概要	敷地面積:40788㎡コンクリート一部鉄骨造り3階建て、多目的ホール、会議室等		
職員体制	センター長1名・舞台担当主任1名・職員5名・パート3名		
施設所管課名	社会教育課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	78,885,078	76,725,000	88,987,000	12,262,000
		利用料金	11,563,720	12,118,770	12,030,820	△ 87,950
		その他	5,197,328	5,746,116	5,821,847	75,731
		計(a)	95,646,126	94,589,886	106,839,667	12,249,781
	支出	人件費	33,216,085	33,956,717	32,048,989	△ 1,907,728
		管理運営費	68,829,440	29,314,881	31,573,008	2,258,127
		その他	2,429,578	38,664,844	40,508,790	1,843,946
		計(b)	104,475,103	101,936,442	104,130,787	2,194,345
収支差引額(a)-(b)		△ 8,828,977	△ 7,346,556	2,708,880	10,055,436	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	収入増について 指定管理料が増額されたため 支出増について 点検費用の値上がりと光熱水費値上がりのため
----------------------------------	--

3 評価 (様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
自主事業は計画通り実施できた。 今年度は地域の課題解決につながる事業(特別講座)により取り組めたと考えている。 施設の利用については、昨年度と比較してさほど変化はなかったが、年々利用者数が減少している。 利用者増をだけを図るのであれば、抜本的な利用制度の改革が必要だと思えます。	職員体制を1名削減した上で適切な業務遂行を行っていた。 日々の施設運営や管理についても、速やかな連絡・報告など、随時、適切な連携が図られていた。 また、利用者数増加に向けて夜間講座の増加やネット環境の整備など新たな取り組みを実施したことは評価できる。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市生涯学習センター

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設設置目的に基づき、まなびの場・交流の場を提供できるように管理運営に努めた。	A	施設の目的や基本方針については、事業計画書においても十分理解し運営されていた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、施設の目的である「学び・集い・交流を楽しむ生涯学習の推進」に努めた。	A	施設の管理運営状況から施設の目的は達成できた。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	利用者の高齢化等の課題で年々減少傾向にあり目標数の再考が必要である。	A	前年度に比べ僅かに減少したものの、ほぼ横ばいで推移している。目標数については、近年の現状に基づき再考されたい。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書とおりの供用日数・時間帯を守り、施設運営に努めた。	A	事業計画書に基づいた運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務分担表を明確にして、適正な配置・勤務実績により適切な業務遂行ができた。	A	職員配置計画に基づき、効率化を図りながら業務が遂行されていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画書に示した業務および管理運営に関する諸事業について、社会教育課と適切な連絡調整を行った。	A	適宜、状況に応じた連絡調整が行われていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種業務計画書の・点検記録・修繕記録等の各所設備・保管について適切に行った。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がされていた。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図られていたか。	A	各種、ボランティアと協同で自主事業を行い、利用者と共催で成果発表会を実施した。	A	各種、工夫しつつ地域の振興への取り組みが行われていた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等の申請の扱いは適正に行った。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿等は漏れなく、適正に作成し、厳重管理に努めた。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱いについては、全職員が研修で学び、日々の事務処理等、適正な取扱いに努めた。	A	適切に処理されており、個人情報漏洩などの問題も発生していない。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	社会教育法および伊勢市の関連条例等(伊勢市生涯学習センター条例)について研修で学ぶとともに各種法令の遵守に努めた。	A	関係法令を遵守し、法令違反は見受けられなかった。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市生涯学習センター

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	夜間の講座を増加した。館内のネット環境(多目的ホール)の整備を行った。	A	夜間講座の増加やネット環境の整備など、利用者向けに新たな取り組みが展開がされている。
	②利用者の平等な利用	A	サービスの水準の確保および向上のため研修を重ねるとともに、日々の窓口対応等で、職員間研修を重ねた。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	館内の情報コーナーに月ごとのイベント情報を提供した。ホームページ上にも同様の情報を発信した。	A	ホームページや広報いせなどを活用し、適切な情報提供がされていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時のマニュアルを整備し、避難訓練も実施されている。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	苦情・意見等は責任者への報告を迅速に行い、適切に対応できた。館内事故等には公民館補償制度の利用で適切に対応した。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	自主事業終了後にアンケートを行い、意見等を取り入れるように努めた。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	事業毎に改善点をまとめ、次年度以降の具体的な改善につなげる努力をしている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検・機能点検・美観確認を行い必要に応じて保持に努めた。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	設備・備品については丁寧な扱いを心掛け、点検・保守については点検業者と連携し、適切に行った。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は所管課へ連絡するとともに、適切・迅速な対応で、施設提供に支障のないように努めた。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	日常清掃・特別清掃ともに施設の美化に努めることができた。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。